

県庁新聞



〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
静岡県広報局
電話054(221)2231

アジアブライダルサミット ～静岡で華やかに開催～



アジアの国々の伝統婚礼文化の継承を目的とした文化交流国際イベント「アジアブライダルサミット2009」が、富士山静岡空港の開港に先立って、4月10日(金)、11日(土)の2日間にわたりグランシップで開催された。多彩なプログラムが展開され、10日には、各国の結婚事情などについての国際会議、多様な民族衣装をまとった伝統婚礼式の発表や「結婚を夢見る若者たち」と題したシンポジウムが、11日には、「エキシビジョン・ファッションショー」桂由美く日本の美をアジアから世界に」が開催された。県内市町から「ご当地ミス」も参加して、サミットに彩りを添えた。

アジアならではの、了後のプログラム「アジア多様な民族衣装と伝統婚礼儀式」では、マレーシア、中国、インド、インドネシア、韓国、日本の順番で、各国の民族色豊かな衣装を身にまとい、伝統的な婚礼式のデモンストレーションが披露された。会場には、制服姿の女子生徒も多数見られ、「神聖な伝統美」に真

剣なまなざしを向けていた。これまでのアジアブライダルサミットにはなかった新しい試みとして、シンポジウムが開催された。パネリストとして、ファッションデザイナーの桂由美さん、華道家の假屋崎省吾さん、社団法人静岡県商工会議所連合会の松浦康男会長を、また、千葉商科大学の島田晴



伝統婚礼儀式

雄学長を迎え、「結婚を夢見る若者たち」非婚化・晩婚化へのアプローチ ワーク・ライフ・バランスへの取り組み」と題して、「仕事と生活の調和の実現」について意見が交わされた。桂さんは、結婚式がワンパターンなものからマルチパターンなものになったことうれしさを感ずる半面、非婚化が進んだことを憂い、仕事での成功に物足りなさが残った自身の経験から、仕事と家庭とを両立できる人生を送ってほしいとエールを送った。松浦会長は、女性が働きやすい職場にするため、企業が社会的責任としてワーク・ライフ



シンポジウム

「本物の愛とは？」と唐突な質問を受けた假屋崎さんは、「一緒にいることで得られる精神的な豊かさ・夢見る心・あこがれの心」の大切さを挙げた。会場からは、出産後の女性の社会復帰を支援する仕組みの要望や、「恋と愛の違い」「理想の恋愛・結婚」などについての質問があり、結婚について、島田学長は、「互いを思いやり、相手の身になり愛をはぐくみ、男女ともに生きる力を身につけるもの」とまとめた。エンディングでは、桂さんの「信じていれば結ばれる人は必ずいる。良い相手に恵まれないのではない、探しかたが下手なだけ」との言葉に、割れんばかりの拍手が起こった。

6月4日の富士山静岡空港の開港を祝い、さらには、アジア各国との交流拡大に大いに寄与するものと期待された今回のサミットは、県内の市町や多くの企業の全面的なサポート



筆者は右端

華麗な舞に気分は高揚「エキシビジョン・ファッションショー」

11日に開催された桂さん監修のファッションショーには、若い人たちに将来への夢を抱いてもらうよう、協賛企業のご厚意で、県内の専門学校生が招待されたこともあり、多くの若い観客でにぎわった。

【調整室(少子化対策担当)少子化対策スタッフ主幹 高橋利幸】



ファッションショー

